

皇居のヌカカ科

金杉隆雄^{1*}・井手竜也²

¹群馬県立ぐんま昆虫の森 〒376-0132 群馬県桐生市新里町鶴ヶ谷460-1

*E-mail: kanasugi-t@pref.gunma.lg.jp

²国立科学博物館動物研究部 〒305-0005 茨城県つくば市天久保4-1-1

Ceratopogonidae of the Imperial Palace, Tokyo

Takao Kanasugi^{1*} & Tatsuya Ide²

¹Gunma Insect World,

460-1 Tsurugaya, Niisato-cho, Kiryu, Gunma 376-0132, Japan

*E-mail: kanasugi-t@pref.gunma.lg.jp

²Department of Zoology and Science, National Museum of Nature and Science,
4-1-1 Amakubo, Tsukuba, Ibaraki 305-0005, Japan

Abstract. A survey on the biting midges (Diptera: Ceratopogonidae) was conducted at the Imperial palace, Tokyo. Four surveys were carried out during the occurrence period 2022–2024 using of light traps. A total of 255 individuals of biting midges were captured, representing five genera. Among these two species of *Culicoides*, and one species each of *Alluaudomyia* and *Stilobezzia* was identified.

Keywords: Diptera, Ceratopogonidae, Imperial Palace.

はじめに

東京都本土部におけるヌカカ科の記録は少なく、上野ら (1956) の報告により、*Culicoides* 属 7種、*Alluaudomyia* 属1種、*Lasiohelea* 属 の1種、*Forcipomyia* 属の数種が記録されているに過ぎない。また、これまでの皇居における双翅目昆虫の報告 (篠永, 2006など) をみてもヌカカ科は取り上げられていない。

今回、皇居内のヌカカ類の調査を行う機会を与えていただき、若干の知見を得たので報告する。

調査方法

ヌカカ類の調査はヌカカ調査用ライトトラップを用いて行った (図1)。調査は2022年7月25日、2023年7月10日および8月21日、2024年8月1日の計

4回実施した。ライトトラップによる調査時間は調査日によりやや時間が異なるが、おおよそ日没



図1. ヌカカ調査用ライトトラップ

前後の18時30分～19時前後から点灯し、およそ2時間後に回収した。

トラップの設置場所は吹上御所内の小川がやや溜り止水となった脇の樹木の枝にトラップを吊り下げた。

採集記録

シガヌカカ (ミヤマヌカカ) *Culicoides tainanus* Kieffer, 1916 (図2)

2♀, 25-VII-2022.

国内では北海道から南西諸島, 国外では朝鮮半島, 台湾, 中国, 東南アジアに広く分布する種である。人畜からの吸血が知られる。

ウスシロフヌカカ *C. pictimargo* Tokunaga et Shogaki, 1953 (図3)

3♂, 4♀, 25-VII-2022.

北海道, 本州, 四国, 九州, 朝鮮半島, 中国に

分布する。鳥吸血性の強い種である (和田, 1999)。

Alluaudomyia shogakii Tokunaga, 1960 (図4)

1♀, 25-VII-2022.



図4. *Alluaudomyia shogakii*



図2. シガヌカカ *Culicoides tainanus*



図5. カザリマスガタヌカカ *Stilobezzia notata*



図3. ウスシロフヌカカ *Culicoides pictimargo*



図6. *Allohelea* sp.

本州から記録がある。

カザリマスガタヌカカ *Stilobezzia notata*
(de Meijere, 1907) (図5)

1♂, 8♀, 25-VII-2022; 3♀, 10-VII-2023; 7♀,
21-VIII-2023; 4♀, 1-VIII-2024.

本州, 九州, 南西諸島, 台湾, 中国, 東南アジアなどに分布する。生時の胸部や腹部の体色はミントグリーンで, 腹部背面などに特徴的な斑紋を有する種である。

Forcipomyia spp.

2♀, 25-VII-2022; 4♀, 21-VIII-2023; 2♂, 17♀,
10-VII-2024; 1♀, 1-VIII-2024.

Allohelea sp. (図6)

1♀, 25-VII-2022.

未記載種とみられる種で, 今回得られた個体のほか, 群馬県南東部で得られた標本がある。

属および種未同定の種 Gen. & spp. undet.

7♂, 22♀, 25-VII-2022; 62♀, 21-VIII-2023; 9♂,
106♀, 10-VII-2024; 1♀, 1-VIII-2024.

謝 辞

調査のご協力をいただいた宮内庁庭園課の方々に御礼申し上げます。

引用文献

- 篠永 哲, 2006. 皇居の双翅目昆虫. 国立科博専報, (43) : 255-267.
- 上野 計, 北岡茂男, 石原忠雄, 矢島朝彦, 1956. 東京都下小平町におけるヌカカの種類, 季節消長及び寄生線虫類について. 衛生動物, 7(1) : 19-26.
- 和田義人, 1999. 日本の *Culicoides* 属のヌカカ (Diptera: Ceratopogonidae). 長崎県生物学会誌, 50 : 45-70.

